



ほこた市

議会だより

今日から楽しい幼稚園～入園式の日～

特集

平成30年度予算可決!!

P2~5



編集後記……裏表紙

議会映像配信の お知らせ



生中継・録画中継で
本会議を傍聴出来ます。

今回は、一般質問
11人だよ。色々な
意見が出てるね。



定例会で決まったこと …P8～9
ここが聞きたい!!

一般質問……………P10～16
議会の活動状況……………P16～18

ほこた市議会だよりリニューアル!!

特集第1弾 平成30年度一般会計予算

銚田市の子育て支援施策を ピックアップ!!



子育て支援サイト・子育て支援アプリ
「HUGくむほこた」
子育てお役立ち情報や
イベント情報が満載!



アプリはここからダウンロード

平成29年に開設した子育て支援サイト「HUGくむほこた」

既存事業

子育て支援ヘルパー派遣事業

妊娠期または産後6か月以内で体調不良などにより家事・育児が困難な方に支援を行うヘルパーを派遣します。

不妊不育治療費助成事業

不妊・不育治療を受けている夫婦を対象に、費用の一部を、これまでの5万円から8万円に増額し助成します。

子育て応援給付金

1歳6か月健診時に、一人当たり2万円の給付金を支給します。

第3子以降保育料（幼稚園授業料）助成事業

国・県の軽減の対象とならない第3子以降の保育料・幼稚園授業料に対し、月額5千円を限度に助成します。

新規事業

子育てカフェ開催事業

気軽に育児の情報交換などができるカフェを開設します。

子育てギフト贈呈事業

出生届提出時におむつ2パックを贈呈いたします。

産後健診事業

出産後の母親が精神的に不安定になる「産後うつ」を予防するために、子育ての悩みを広く聞き、また健診の費用を助成します。



※子育て事業の一部を紹介しています。



子育て環境の充実へ!!

平成31年4月に開校予定の銚田南小学校(完成予定図)



銚田南中学校区7校が統合し、約800人の児童が通学する予定です。現在は校舎工事を行っており、安全に通学できるよう、通学路の整備も進めています。

答

旭地区は洵沼観光センター、銚田地区は銚田商工会、大洋地区はくめぎの森を予定しています。また、保育園で開設している地域子育て支援センターで開催できるよう協議しています。

問

子育てカフェの開催場所は。

答

保護者へのアンケートで要望の多かったおむつを、出生届提出時に2パック贈呈します。1パック当り2000円ほどとなります。

問

子育てギフト贈呈事業の詳細について。

答

産前産後に20回です。なお、多胎の場合は40回となります。

問

子育て支援ヘルパー派遣事業の派遣回数。



ご意見を聞きました



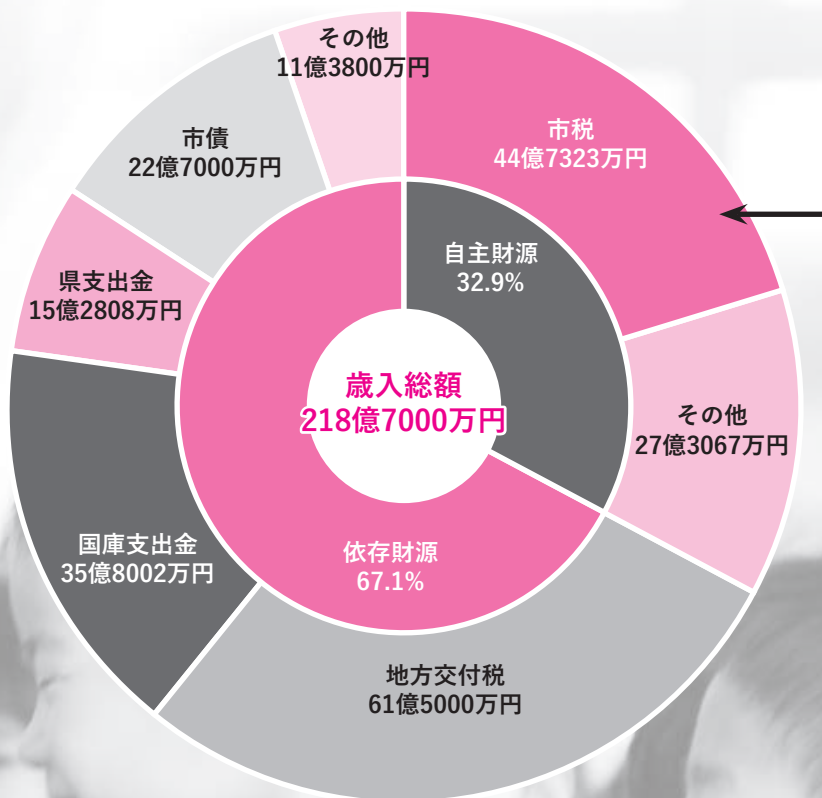
未来につながる税金の使いみち

平成30年度一般会計予算は

前年度比3.0%増の218億7千万円

一方、特別会計予算は、国民健康保険の財政運営主体が市から県に移ることや、農業集落排水の整備が完了したことなどにより、財政規模が大幅に縮小します。

《一般会計 歳入の内訳》



●市税の種類は？

個人が収入に応じて市に納める個人市民税と、法人の収入に応じて納める法人市民税があります。

また、土地や家屋の所有者が納める固定資産税や、軽自動車の所有者が納める軽自動車税、ほっとパークやとっぷさんて大洋で温泉を利用する方が納める入湯税などがあります。

●一般会計と特別会計

一般会計は、福祉や教育、道路整備など、基本的な行政サービスを行うための会計で、市税や地方交付税などが財源となっています。

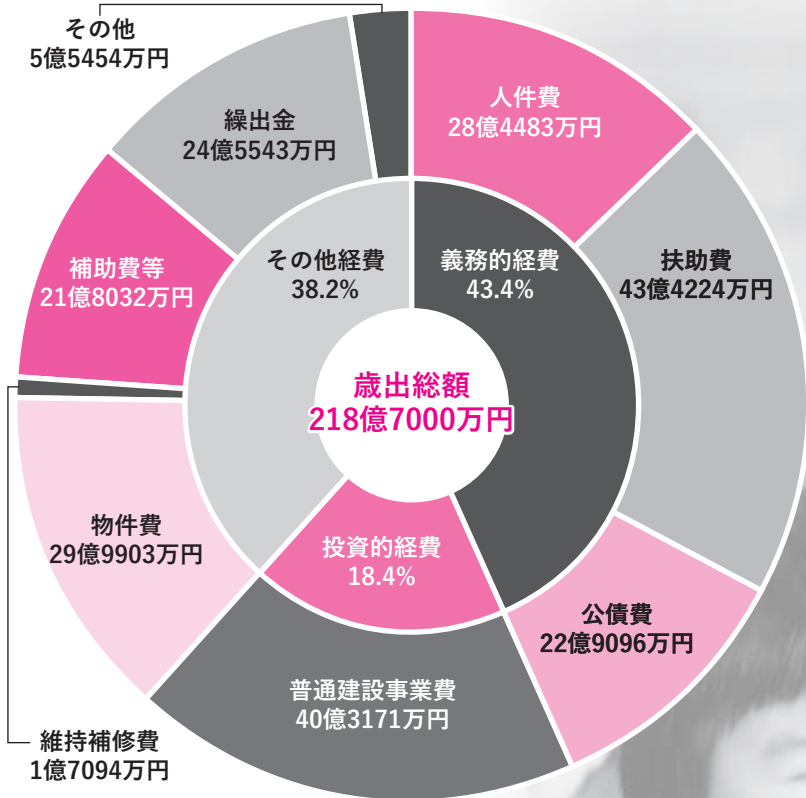
特別会計は、国民健康保険特別会計のように、特定の目的のため、一般会計と区別して経理する必要がある場合に設けられる会計です。

平成30年度 各会計予算

会計名	今年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率	
一般会計	218億7000万円	212億3500万円	6億3500万円	3.0%	
特別会計	国民健康保険	74億3630万円	90億6315万円	△16億2685万円	△18.0%
	後期高齢者医療	5億317万円	4億6589万円	3728万円	8.0%
	介護保険	46億3969万円	45億5508万円	8461万円	1.9%
	農業集落排水事業	2億606万円	2億3997万円	△3391万円	△14.1%
	公共下水道事業	6億3782万円	7億493万円	△6711万円	△9.5%
水道事業会計	19億7989万円	19億3268万円	4721万円	2.4%	
合計	372億7293万円	381億9670万円	△9億2377万円	△2.4%	



《一般会計 歳出の内訳》



一般会計

218億7000万円

対前年比 3.0%の増

予算総額

372億7293万円

対前年比 2.4%の減

主

ピ

ツ

ク

ア

ツ

プ

**な
事
業
を**

魅力あふれる「地域資源」と活力ある「しごと」をつむぐ

【新規】中小企業等支援事業

【予算額】 2,000千円

新たに意欲的に取り組む事業や、市内で新たに起業する方に対し、創業セミナーや個別相談などの支援を拡充し、認定創業者が市内に創業したときには、補助金を交付します。

誰にもやさしい「安全・安心」と住みよい「暮らし」をつむぐ

【新規】

若者・UIJターン促進助成事業

【予算額】 1,080千円

銚田市へ住所を移し、土地・住宅を取得した方に、購入価格の1% (上限20万円) を助成します。

未来を培う「市民協働」とみんなの「想い」をつむぐ

窓口整備事業

【予算額】 4,877千円

市民課の窓口受付自動発券機が設置され、スムーズに証明書などを受けられるようになります。

豊かでめぐまれた「自然」と利便ある「都市(まち)」をつむぐ

【新規】

犬・猫避妊去勢手術費補助金

【予算額】 300千円

犬や猫の避妊去勢手術費用を1頭につき3,000円助成します。

次世代に伝えたい「歴史・文化」と夢拓く「ひと」をつむぐ

【新規】中学生海外派遣事業

【予算額】 3,466千円

世界に羽ばたく銚田の子を育てるため、市内の中学2、3年生10名程度をオーストラリアに派遣し、ホームステイなどの交流を行います。

※各事業には要件や期限などがありますので、詳細は市ホームページや担当課にお問い合わせください。



平成30年第1回臨時会の議事日程

- 1月22日（月） 本会議
- ・ 開会
 - ・ 会議録署名議員の指名
 - ・ 会期の決定
 - ・ 諸般の報告
 - ・ 市長提出議案の説明・質疑・討論・採決
 - ・ 閉会

第1回臨時会の概要

平成30年第1回臨時会は、1月22日の1日間の会期で行われました。

議案は、市長から銚田市監査委員の選任及び銚田市教育委員会委員の任命の2件の人事案が提出されました。

質疑では、2件の人事案に対し、選出した基準や理由を問う質疑がありました。

採決の結果、両議案ともに全会一致により可決されました。

平成31年度 茨城国体開催PR



いきいき茨城ゆめ国体
スポーツライミング開催

平成30年第1回定例会の主な日程

- 2月27日（火） 本会議
- ・ 開会
 - ・ 施政方針並びに市長提出議案の説明
 - ・ 議議案第1号の提案説明・質疑・討論・採決
 - ・ 会派代表者質問
- 3月2日（金） 本会議
- ・ 一般質問
- 3月5日（月） 本会議
- ・ 市長提出議案の質疑・討論・採決（平成30年度当初予算案以外）
 - ・ 本会議
- 3月6日（火） 本会議
- ・ 本会議
- 3月8日（木） 本会議
- ・ 本会議
- 3月9日（金） 本会議
- ・ 質疑（平成30年度当初予算案）
 - ・ 予算特別委員会設置
- 3月12日（月） 予算特別委員会
- 3月14日（水） 予算特別委員会
- 3月15日（木） 予算特別委員会
- 3月16日（金） 総務企画常任委員会
- 3月19日（月） 経済建設常任委員会
- 3月20日（火） 厚生文教常任委員会
- 3月23日（金） 本会議
- ・ 市長提出議案の質疑・討論・採決（平成30年度当初予算案）（議案第35号から36号）
 - ・ 閉会

第1回定例会の概要

平成30年第1回定例会は、2月27日から3月23日までの25日間の会期で行われました。

議案は、市長から平成30年度一般会計等の予算案や介護保険条例の一部改正などの条例案、平成29年度一般会計等の補正予算案、（仮称）銚田市民交流館建設の契約・仮契約の解約に伴う和解及び損害賠償の額に関する議案、副市長の選任など計36件が提出されました。また、議員から、根崎眞 厚生文教常任委員会委員長に対する委員長辞職勧告決議案が提出されました。

請願は、カムリカイツブリの天然記念物指定を求める請願書及び監的壕の史跡指定を求める請願書の2件が提出されました。

会派代表者質問は、1会派が施政方針に対して質問を行いました。

一般質問は、11人の議員から通告があり、世界湖沼会議やうまかつペフェスタ、スクールバス無償化、地域おこし協力隊、機構改革と人事についてなどの質問を行いました。

常任委員会は、総務企画委員会及び経済建設委員会です管事務調査を、厚生文教委員会です管事務調査を行いました。

今定例会では、市長及び議員提出の全議案が可決され、請願は2件とも継続審査となりました。



平成30年第1回定例会 本会議 3月8日

議案第25号

平成29年度鉾田市一般会計補正予算(第6号)

○提案趣旨

財源不足が見込まれる国民健康保険特別会計への繰出金や、(仮称)鉾田市民交流館事業の白紙撤回に伴う公債費の繰上償還金などを増額し、産地パワーアップ事業や道路新設改良事業、公共下水道事業特別会計繰出金などを、事業実績等に基づき減額するもので、歳入歳出それぞれ7億3644万4千円を減額し、総額223億6970万9千円に定めるもの。

主な質疑

問

(石津武吉議員)(仮称)鉾田市民交流館建設白紙撤回に伴い合併特例債を繰上償還するための予算が計上されているが、元金と利子の内訳は。

答

(総務部長)繰上償還する合併特例債は2億5600万円で、うち利子が62万7369円です。

問

(倉川陽好議員)健康増進施設管理運営事業について、委託料増額の理由は。

答

(健康福祉部長)ほっとパーク鉾田と、とっぷさんて大洋において、燃料費の高騰により不足したため、増額補正するものです。

問

(井川倫士議員)放課後児童健全育成事業について、利用者が増加した大洋地区の実績は。

答

(健康福祉部長)大洋地区の放課後児童クラブの利用児童が、平成28年度は、登録児童が62人で、うち送迎を必要とする児童が47人でしたが、平成29年度は、登録児童が97名で、送迎を必要とする児童が58名と増加しました。このため、送迎に必要な経費の補正を行うものです。

問

(小沼 勝議員)産地パワーアップ事業が大幅な減額となった要因は。

答

(産業経済部長)事業の申請にあたり、要件不足などにより生産者からの取り下げが4件、生産組合からの取り下げが1件あったため、大幅な減額となったものです。

問

(小沼 勝議員)生産者に対して事業内容の事前の説明が足りなかったのではないかと。

答

(産業経済部長)今後は、補助事業を生産者が活用できるように周知してまいります。

問

(高野 衛議員)耐震改修費補助金の全額が減額となった理由は。

答

(建設部長)平成29年度は3棟の補助を予定していましたが、申請がなかったため減額するものです。補助金交付には、まず耐震診断が必要となるため、PRを進めてまいります。



各議員の賛否が分かれた議案等

会議名	議案等	議員名																討論		採決結果						
		高埜	井川	渡辺	亀山	二重	郡司	小沼	根寄	水上	入江	岩間	井川	米川	友部	山口	田口	堀田	石津		高野	倉川	※議案等について			
		栄治	倫士	拓哉	彰	茂兵衛	功	勝	眞	美智子	晃	勝栄	茂樹	宗司	政徳	清一	正衛	武吉	衛		陽好	賛成	反対			
第1回定例会	第1号	平成30年度銚田市一般会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高野	小沼	可決	
	第2号	平成30年度銚田市国民健康保険特別会計予算	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	倉川	高野	可決	
	第3号	平成30年度銚田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	亀山	高野	可決	
	第4号	平成30年銚田市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	根寄	高野	可決	
	第13号	銚田市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	倉川	高野	可決	
	第16号	銚田市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	根寄	高野	可決	
	第20号	和解及び損害賠償の額の決定について ((仮称)銚田市民交流館建設工事(電気設備工事)に係る仮契約の解約に係る損害賠償)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			可決	
	第21号	和解及び損害賠償の額の決定について ((仮称)銚田市民交流館建設工事(舞台機構工事)に係る仮契約の解約に係る損害賠償)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			可決	
	第22号	和解及び損害賠償の額の決定について ((仮称)銚田市民交流館建設工事(舞台音響工事)に係る仮契約の解約に係る損害賠償)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	高野	亀山	可決	
	第23号	和解及び損害賠償の額の決定について ((仮称)銚田市民交流館建設工事(舞台照明工事)に係る仮契約の解約に係る損害賠償)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			可決	
	第24号	和解について ((仮称)銚田市民交流館建設工事(機械設備工事)に係る仮契約の解約に係る損害賠償)	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			可決	
	第25号	平成29年度銚田市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	郡司	堀田	可決
	第34号	副市長の選任について 寺門 利幸氏	無記名投票 【賛成：12票 反対：6票 /投票総数：18票】 ※欠席：1名 ※議長は投票に加わりません																			-	-	同意		
	議案第1号	根寄眞厚生文教常任委員会委員長に対する委員長辞職勧告決議について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	倉川	井川	可決	

○：議案等に対して賛成 ●：議案等に対して反対 議：議長 退：退席 欠：欠席 除：除斥



全会一致で可決された議案等

会議名	議案等		会議名	議案等	
臨時会	第1号	銚田市監査委員の選任について 伊藤 幸夫 氏	第1回定例会	第18号	銚田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について
	第2号	銚田市教育委員会委員の任命について 山口 和子 氏		第19号	銚田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について
第1回定例会	第5号	平成30年度銚田市農業集落排水事業特別会計予算		第26号	平成29年度銚田市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
	第6号	平成30年度銚田市公共下水道事業特別会計予算		第27号	平成29年度銚田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
	第7号	平成30年度銚田市水道事業会計予算		第28号	平成29年度銚田市介護保険特別会計補正予算(第4号)
	第8号	銚田市再編関連訓練移転等交付金事業基金条例の制定について		第29号	平成29年度銚田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
	第9号	銚田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について		第30号	平成29年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)
	第10号	銚田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について		第31号	平成29年度銚田市水道事業会計補正予算(第3号)
	第11号	銚田市道路占用料徴収条例の一部改正について		第32号	市道路線の変更について
	第12号	銚田市都市公園条例の一部改正について		第33号	市道路線の認定について
	第14号	銚田市国民健康保険条例の一部改正について		第35号	平成29年度銚田市一般会計補正予算(第7号)
	第15号	銚田市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について		第36号	平成29年度銚田市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)
	第17号	銚田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について			

市政を問う 会派代表者質問

平成30年第1回銚田市議会定例会 会派代表者質問 3月2日

市長の考える
「よりよいまち」とは



公明党
銚田市議団
入江 晃 議員

問 市政運営の基本方針に掲げている「よりよいまち」とは、どのようなまちなのか伺います。

答 【市長】私の考える「よりよいまち」とは、市民の声を反映し、子どもを安心して産み育て、老後も安心して産むまち、便利で安全、希望の持てる活気あるまち、そして銚田に住んでいてよかった、銚田に住みたい、銚田市を誇りに思える、そんなまちです。公約に掲げた基本政策を着実に推進していくことが、「よりよいまち」につながるかと考えております。

問 市長の考える「よりよいまち」実現のために、まず一番先に重点を置き取り組むことは何か伺います。

答 【市長】まずは、銚田市そして茨城県、日本を背負う子どもたちのために、重点的に力を入れていきます。

中学生海外派遣事業の規模拡大を

問 新規事業である中学生海外派遣事業は参加者10名程度の予算となっております。選考のハードルが高いと思いますが、10名程度とした理由を伺います。

答 【市長】今回の事業では1人当たりの経費の約8割を公費負担していることから、当然参加する中学生は目的意識を持って、この事業の趣旨を理解した上で真摯にこの事業に参加していただく必要があります。ある程度選考が厳しくなることはいたし方ないと考えております。

要望 いい事業だと評価いたします。予算措置も大変だとは思いますが、中学校が4つあるのだから、もう少し増やして、多くの生徒が参加できるように施策にしていきたい。

公明党銚田市議団 入江 晃
質問事項

1. (はじめに)の決意について
2. 市政運営の基本方針について
3. 行政改革について
4. 子育て・教育環境の整備について
5. 福祉・医療の充実について
6. 便利で安全なまちについて
7. 活気あふれる地域について
8. 誇れるまちの創造について



ここが聞きたい!! 一般質問

平成30年第1回鉾田市議会定例会一般質問通告順

議員名	質問事項
倉川 陽好	1. 北浦の役割と活用について 2. 野焼き対策について 3. 駐車場について 4. 世界湖沼会議について 5. 大洋地区小学校建設の状況について
小沼 勝	1. 鉾田市まちづくり計画と合併特例債事業について 2. 産業振興につながるトップセールスについて
渡辺 拓哉	1. (仮)市民交流館について 2. うまかっぺフェスタについて 3. 地域おこし協力隊について
井川 倫士	1. 本市の広報誌のあり方と広報戦略について 2. 休日や放課後の子ども活動充実と女性の就労支援（放課後子ども教室などの実施状況）について
石津 武吉	1. 機構改革と人事について 2. うまかっぺフェスタについて 3. 再編交付金の返還の可能性について 4. 遠距離通学児童への支援について
高野 衛	1. (仮称)市民交流館建設見直しについて 2. スクールバス無償化について 3. 産婦人科医師確保について 4. 監査委員室の設置について 5. 大洗原子力機構「常陽」再稼働問題について 6. 東海第2原発広域避難計画について 7. 入学準備金の入学前支給について
亀山 彰	1. 市民交流館建設について 2. スクールバスについて 3. 給食費について 4. 小規模企業振興について 5. 涸沼周辺の観光行政について
高埜 栄治	1. 鉾田市行政事務の進め方改善への取組み進捗状況について 2. 鉾田市の「新・興業元年」とすべき農畜水産業を含めた産業振興策について 3. 就労支援を核とするまちづくりの推進について 4. 市民協働共創のまちづくりに向けた取組み手法について 5. 国保事業の改革に伴う鉾田市国保運営の方向性について 6. 激変する自然及び社会的環境変化に対応できる地域の安全安心を担保し生命財産を守るための施策展開について

議員名	質問事項
水上 美智子	1. 義務教育の就学援助について 2. オレンジカフェの開催状況について 3. 中高年のひきこもりについて 4. 胃がん対策について 5. 地域おこし協力隊について 6. 結婚新生活支援補助金について 7. 資源の有効活用について
入江 晃	1. 鉾田市の農業振興について 2. 30年度から始まる新たな米政策について 3. 農業経営者ごとの収入保険制度について 4. 合併特例債事業について
根寄 眞	1. (仮称)市民交流館建設に係るこれまで進めてきた事業と財源内訳について 2. (仮称)市民交流館の建設中止により、既に借り入れた合併特例債について 3. (仮称)市民交流館の建設中止により、国等の補助金を財源としている事務処理のスケジュールについて 4. (仮称)市民交流館の建設中止により、損害賠償金について 5. (仮称)市民交流館の建設中止による、跡地利用が提示されたことについて 6. 学校統廃合での廃校利活用について

一般質問とは？

議員が市政全般の現状や方針などを問うものです。
ここでは、一般質問を要約して報告します。



ホームページで一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

- ①鉾田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「鉾田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。



なお、今定例会の会議録公開は、6月頃の予定です。
本会議の会議録（冊子）は、市立図書館で閲覧できます。

鉾田市役所ホームページ

検索





(仮称) 市民交流館白紙撤回に伴う市の損失は

小沼 勝 議員

問 (仮称) 市民交流館建設事業は新都市建設計画に位置付けられた事業です。市長は白紙撤回についてどのように考えていますか。地元区長や地権者には、献身的な協力をいただいております。建設しないのであれば用地内にあった道路機能の回復をとの要望もあり、どのように説明し理解を得るのか伺います。

答 (仮称) 市民交流館建設事業は新都市建設計画に位置付けられた事業です。市長は白紙撤回についてどのように考えていますか。地元区長や地権者には、献身的な協力をいただいております。建設しないのであれば用地内にあった道路機能の回復をとの要望もあり、どのように説明し理解を得るのか伺います。

再質問 議会が終わってかだが、地権者などの理解を得るためには、議会が始まる前に説明が必要だったと思います。交流館ができるから、という思いで理解をいただいた方々に対して大変失礼だったのではないかと

見解 土地を引けば4億5千万円近いお金が損失ではないという答弁ですが、使った事には間違いない。投資したことには間違いないと思います。



北浦の役割と活用について

倉川 陽好 議員

問 北浦の役割と活用について、①飲料水としての役割②工業用水としての役割③排水問題と大雨の際の調整機能について④漁業等の役割⑤農業用水としての役割⑥観光としての役割の6点をお尋ねします。

答 【上下水道部長】飲料水と工業用水いづれも、県企業局の事業により、取水し供給されています。飲料水は高度処理し、水質検査等を実施して、安全な水道水の提供に努めております。

【建設部長】3点目は、北浦は有効な流末調整機能を果たしており、大雨の際は、北浦を流末としている河川に逆流の恐れがあるため、主な河川に樋門等が設置されています。樋門開閉の操作方法などを含め、日ごろの維持管理が重要と考えております。

要望 4点目と6点目には川魚など豊富な食材があっても、それを食べられるところが少ないので、これらの食材の活用や食事場所の開発など、食の観光拠点を整備する必要があらうと思います。





放課後の子ども の支援強化を

井川 倫士 議員



(仮称)市民交 流館白紙撤回後 の進め方は

渡辺 拓哉 議員

問

(仮称)市民交流館予定地について、これから新たに場所を選定する場合、合併特例債の期限には難しいのではないのでしょうか。また、予定地として購入した土地の活用にも、子どもや高齢者の集える交流施設、防災関連施設などの案が出されましたが、交流館用地としては出入り口が危険という理由を挙げているにも関わらず、このような施設はいいのかという問題があります。設計を見直し、同じ場所に建て

答

たほうが市民も納得すると思いますがいかがですか。
【市長】白紙撤回の考えは変わらせず、当初予定地で建設することはありません。なお、合併特例債の期限は平成37年度となっています。また、交流館建設予定地であった土地の活用として、防災関係、観光インフォメーションセンター、子どもカフェ、児童公園、グラウンドゴルフ場、保育所、警察署、消防署などの公共施設を挙

再質問

げましたが、これらは構想の一端で、新年度から設置するプロジェクト推進係の中で、市民の声を聴く検討委員会等を設けて絞り込んでいきたいと考えております。
【再質問】検討委員会について、いつまでに設置するのか伺います。
【市長】平成30年度から設置するまちづくり推進課に、プロジェクト推進係を設け、ここで検討委員会等を立ち上げて意見を吸い上げていきたいと考えてい

再質問

ます。また、平成30年度にアンケート調査を実施します。
【再質問】アンケート調査後、別の土地に建てるとなった場合、市長と関わりのある土地などがあると、様々な問題がでてきますので、このことについても確認します。
【市長】アンケートをとってからの検討委員会ということですが、土地についても、疑惑のないような状況で進めていきます。

問

県の計画で、保護者が働いている児童を対象とした「放課後児童クラブ」と、保護者の就業に関わらず放課後の子どもの活動を支援する「放課後子ども教室」を、平成31年度末までに各小学校区に1つ以上つくることが目標とされています。そこで、本市の実施状況について、また、近隣自治体と比較した本市のスクールバス運行の特徴を伺います。
【教育部長】放課後子ども教室は、現在のところ実施しておりません。

再質問

【健康福祉部長】放課後児童クラブは、民営で7か所、公営で2カ所実施しております。
【教育部長】スクールバスは、鉾田北小学校で登下校時に11ルート運行し、307人が利用しており、一斉下校以外では高学年と低学年の下校時間に合わせ2便を運行しています。一方、茨城町では下校時1便の運行ですが、低学年の児童に放課後スクールサポーターという独自制度を設け対応しているようです。

答

【健康福祉部長】放課後児童クラブの定員は9か所で370人です。
【教育部長】放課後子ども教室を取り組んでこなかった理由として、指導員やボラン

要望

ティア等の人員確保、活動場所の確保などの問題が挙げられます。
茨城町では、200万円程の予算でスクールサポーター事業を実施しているようです。本市でも、本腰を入れて取り組むべきはこういった放課後の児童の支援だと思えます。また、子育てに関する基本計画が保護者などに共有できていないことも問題です。PTAや市民が集まる団体などと話す機会を、定期的にもっていただきたい。

※平成30年4月18日合併特例債延長法が成立し、5年間延長されました。





入学準備金の入学前支給の考えは

高野 衛 議員

問 要保護及び準要保護の児童生徒を持つ保護者に対し、入学準備金が支給されています。制服やランドセル、学用品など新入学用品費の支給時期が入学に間に合わず、保護者が一時立て替えて支払うことになり、負担が大きくなっています。文部科学省の調査では、準要保護者の入学準備金について、2018年入学児童への入学前支給実施または実施予定の市町村の割合が、小学校で40・

答 6%、中学校で49・1%と、全国でも半数近くで入学前に支給され改善が進んでいます。銚田市における入学準備金の入学前支給の状況と、入学準備金の目的にかんじてお尋ねします。
【教育部長】新入学児童生徒の学用品費については、例年7月に支給をしております。新入学児童生徒学用品費の支給については、入学準備の出費が見込まれる時期に繰り上げ

を行う自治体の先進事例を参考に、調査研究してまいりたいと考えているところです。なお、平成29年度の支給額は、小学校で9件36万5400円、中学校で33件156万4200円です。

再質問 全国で約半数近くが入学前に支給しており、急速に広がっています。なぜ実施している市町村が多い中で銚田市ができないのか、非常に疑問に思っています。入学のための準備ですから、少なくとも3月には支給するよう改善を図っていただきたい。
答 【市長】今の時点では時期についてはいくつかが問題がありますので、それがクリアできれば改善できるかと思えます。
要望 文部科学省からも、「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるよう十分配慮すること。」と通知がなされています。問題を解決し、速やかに入学前の支給に踏み切っていただきたい。



うまかっぺフェスタの市街地開催について

石津 武吉 議員

問 銚田市のまちなかの振興を一番の念頭にし、うまかっぺフェスタを10月に行うと提案がなされました。イベントを行うに当たっての大前提が薄い気がしており、まちなかでの開催には強い疑いをもっています。来場者にとっても、大竹海岸を中心とした鹿島灘海浜公園で行った方が良く、このような大きなイベントで駐車場の確保をどうするのか。また、準備に係る職員の負担など、どのように考えているのか伺います。

答 【産業経済部長】市街地での開催には、沿線市民の協力や来場者の安全確保、出店スペース、駐車場、移送手段、交通規制など課題があり、従来とは異なることから、出店者をはじめ、関係機関等の協力や職員の協力が必要となります。開催に向け、市街地開催の実績があるにぎわい祭りや夏祭りを参考に、実行委員会を立ち上げ準備を進めてまいります。
開催日については、10月

14日(日)1日の開催を計画しており、準備は当日午前中となります。時間等については、今後警察署と協議を行い、催事内容についても、実行委員会において決定していきます。
再質問 当日の午前中に準備をして、開催時間は何時間になるのか。ちっぽけなものとなって、今まで10年開催してきた実績やプライドが崩壊してしまう。市街地だけの賑わいに、うまかっぺフェスタを利用す

るのは大変な間違いで、また別の分野で対策をとるべきではないですか。
答 【市長】これまで10回実施してきました。同じような時期に鹿嶋市や大洗町でもイベントが行われており、一度実施してみる価値があるという思いで臨んでいるところです。
提言 市長の言っていることは無謀そのものです。大変な事態を引き起こすと忠告申し上げます。





就労支援を核とするまちづくりの推進を

高 埜 栄 治 議員



涸沼にビジターセンター誘致を

亀 山 彰 議員

問

涸沼駅観光センターが改修され、多くの観光客がレンタサイクルを利用し、涸沼へ来ています。そこで、涸沼堤防の舗装化と環境調査の進捗状況を伺います。

また、涸沼沿岸には自然に親しむ拠点がないことが問題の一つですので、ビジターセンターの誘致について市の考えを伺います。

答

【総務部長】 涸沼堤防の舗装化については、関係3自治体首長の連名で要望書を知事あてに提出しています。自治体の要望

により舗装した場合、舗装後の管理は市が行うなどの条件が付されており、護岸管理は県が行うべきとの立場から、条件なしの舗装化を申し入れているところで

す。引き続き要望を実施してまいります。

【市民部長】 環境調査は、現在までに昆虫、植物、水生生物の調査が終了し、野鳥についても暖候期の調査は終了し、寒候期の調査を残すのみとなっています。今後、重点地域の抽出と保全の方向性、将来のデザイン

問

多くの自治体が若者の働く場を確保できず、

少子化、定住化対策が機能していない部分があり、未就労の若者などの福祉対策も含め、問題が山積みです。そこで、①銚田市地域職業相談室といばらき就職支援センター鹿行地区センターの役割分担と連携②市相談室での求人先の新規開拓③定住促進事業と就労支援の連動④ひきこもり者の実態と就労支援⑤縦横連動による事業の有効化を図る取り組みについて伺います。

答

【産業経済部長】 地域職業相談室は、国と市

が共同で運営し、雇用保険関係の事務を除き、ハローワーク同等のサービスをを行っています。一方、就職支援センターは県が主体で運営し、若者向けの就職支援事業として、面接指導や相談会などを実施しており、求人情報の相互利用や、セミナーの案内など連携を図っております。

2 点目、職業相談室の設置に当たり、国の要領による条件があるため、市独自の活動

案を作成する予定です。

ビジターセンターの誘致については、涸沼流域3市町で構成されるラムサール条約登録湿地ひぬまの会から、整備の要望書を環境省へ提出しており、平成30年度には県を含めた具体的な話し合いを進める予定です。

再質問

舗装化については、観光客から砂利道で走りづらいとの話もありますので、市の予算で簡易舗装することも視野に入れて検討していただきたい。ビジターセンターについて

は行っておりません。

【総務部長】 3 点目、移住定住希望者の就労支援については、前述の地域職業相談室等を活用していただきたいと思っています。

【健康福祉部長】 4 点目、平成28年度の調査で、本市では二十数名となっていますが、調査票の回収率も低く、実態を反映していないとの指摘があります。市としましては、専門スタッフが常駐する、県ひきこもり相談支援センターへと相談がつながるよう、情

では、3市町のいずれかに誘致することは決まっているようだが、場所はこれから検討ということか。

答

【市民部長】 3市町とも大まかな場所は決まっております。銚田市は4町歩ほどの市有地を予定しています。その中から3市町で話し合い決定することとなります。

要望

3市町で話し合うということですが、市長の手腕が問われます。ぜひ誘致をお願いいたします。

要望

就労支援をさらに横断的、一体的に進めていただきたい。また、市独自の無料職業紹介所を開設し、若者向けに、休日や夜間にも積極的な求職、求人活動ができる取り組みをしていただきたい。





(仮称)市民交流館建設白紙撤回に伴う損害額は

入江 晃 議員



胃がんリスク早期発見の取り組みを

水上 美智子 議員

問 合併特例債事業の中で、市民交流館は一番の事業です。これを取りやめて、今後特例債事業はやらないのか、新たな事業に組み替えて進めて行くのか。文化施設は意識調査を実施してから考えるとの方針を出しているが、造るにしても、造らないにしても多くの時間と労力がかかり、早めの決断が必要ですので、見解を伺います。

答 【総務部長】合併特例債事業は、東日本大震災の特例措置を受

問 本市の国民健康保険における、胃の悪性新生物に係る医療費と、延べ患者数について伺います。

併せて、施政方針で、病気の早期発見につながる取り組みとして、胃がんリスク検診を実施すると述べられました。今後の取り組みについて伺います。

答 【市民部長】平成28年4月から平成29年3月診療分の国民健康保険の医療費は、5679万4490円で、延べ患者数が906人となっております。

け、実施時期が平成37年度までとなり、建設事業に充てる特例債の発行可能額は179億4770万円です。(仮称)市民交流館建設事業の白紙撤回に伴う35億円の特例債については、銚田市まちづくり計画変更計画に基づく事業に活用を図り、新市の均衡ある発展を目指していくものとなります。

再質問 市民交流館事業に認し進めてきました。特例債事業として進めてきた以上、35億円の特例債事業を

【健康福祉部長】胃がんリスク検診については、平成30年度一般会計予算でピロリ菌検査に係る経費を計上し、実施を予定しております。

再質問 医療費と延べ人数が平成28年度に比べ減少しているようです。この医療費と患者数の現状に対する考えを伺います。

併せて、胃がんリスク検診対象者の年齢と検査方法、予算について伺います。

答 【市民部長】胃がん患者数については、減少させる対策が必要と考えて

今後いかにして進めて行くのが重要です。白紙撤回とすると、今まで投資してきた実施設計の費用や人件費が全て無駄になります。リセットして新しく設計し、新しい土地を求めなければなりません。ここまで進めてきたものに対し、損害が幾ら発生するのか伺います。

答 【総務部長】設計やの造成、工作物移転補償、建設用地の測量等の委託料などを含めると、総額4億3817万6千円が(仮

おりますので、特定健診と併せて胃がん検診を受診していただけるよう、今後も通知や広報誌への掲載などPRに努めてまいります。

【健康福祉部長】胃がんリスク検診は、血液検査によりピロリ菌の感染や胃粘膜の収縮を確認し、胃がんリスクを把握するもので、胃がん検診同様に30歳以上を対象とします。平成30年度の予算は540万円で、一人あたりの費用2700円のうち1500円を自己負担していただく予定です。

称)市民交流館にかかった経費です。

再質問 市長は文化施設をしておりますが、もし造らなければこれまでの設計は使えなくなると思いますが、それが損失となるはずで、総額のうち、その損失は幾らなのか再度伺います。

答 【総務部長】設計費については、今の設計では建設できないということになりますので、委託料などの諸費用を含め2億1735万6千円です。

再質問 以前にも若年層のピロリ菌リスク検査の導入を提言していますが、早期発見により医療費削減にもつながると思います。今後の考えについて伺います。

答 【健康福祉部長】県内では、40歳以上を対象に実施しているようです。若年層の検査については、今後検討していきたいと思



主な議会の動静

2月

- 2日 茨城県市議会議長会
第2回議員研修会
- 3日 平成29年度議会報告会
- 6日～7日 茨城県東市議会議長会視察研修
(神奈川県秦野市)
- 13日 全員協議会／厚生文教常任委員会
- 16日 市議会議員共済会
第115回代議員会
- 21日 議会運営委員会
- 21日 第4回TX延伸に関する検討会議
- 27日～3/23日 平成30年第1回定例会

3月

- 2日 全員協議会
- 5日 議会運営委員会
- 12・14・15日 予算特別委員会
- 14日 議会運営委員会
- 16日 総務企画常任委員会
- 19日 経済建設常任委員会
- 20日 厚生文教常任委員会
- 23日 議会運営委員会／
議会広報編集委員会

4月

- 4日 TX茨城空港延伸議会期成同盟会
設立総会に関する県知事訪問
- 5日 TX茨城空港延伸議会期成同盟会
設立総会に関する国会議員訪問
- 12日 茨城県東市議会議長会定例会
- 17日 総務企画常任委員会行政視察
(常陸太田市)
- 17日 鹿行政経懇話会
- 18日 茨城県市町村長・
市町村議会議長会議
- 19日 茨城県市議会議長会理事会・
定例会
- 20日 議会広報編集委員会／
厚生文教常任委員会
- 20日 百里基地周辺市町協力会総会
- 24日～25日 関東市議会議長会定期総会
(栃木県桐生市)



小学校統合による廃校の利活用方針は

根 寄 眞 議員

問

小学校統合による廃校の利活用について、鉾田北小学校関連5校の廃校利活用はどのようになっているのか伺います。

併せて、鉾田南小学校関連7校の廃校後の利活用の進め方について伺います。

答

【総務部長】鉾田北小学校区の旧小学校については、統合小学校建設が決定した時点で耐震性のなかった校舎については、耐震化工事を実施しておりませんでした。これまで、廃校後の用途

廃止の手続きとして、電気設備や給排水施設の切り替え工事、不要となる施設の撤去等を実施し、平成29年度は旧舟木小学校校舎及び講堂の解体

2点目につきましては、今後も限られた財源の中で、市民に対し安心安全な行政サービスを将来にわたり持続させるため、鉾田市公共施設

工事を実施しました。平成30年度も、耐震性のない旧巴第一小学校校舎及び大和田小学校校舎の解体工事を予定しています。

設等総合管理計画において、今後40年間で公共施設の総延床面積を30%削減することを目標としておりますので、鉾田市学校跡地利用基本方針などとの整合性を図り、統合により廃校となる20校全てについて、まちづくりの将来像や今後の人口減少を考慮し、また、市民ニーズの変化や施設の利用状況を把握しながら、総合的に検討を進めてまいります。

再質問

廃校に係る基本方針として、引き続

き利用を検討する施設と、基本的に閉鎖を予定している施設を区分し、地域住民と十分に協議しながら検討することですが、住民にとって、自分たちの学校が廃校になるということは大変なことだろうと思います。住民に対する説明のスケジュールはどのようにになりますか。

答

【総務部長】スケジュールなども含め、平成30年度から設置するプロジェクト推進係で計画を進めてまいります。



委員会活動報告

総務企画常任委員会行政視察

期日：平成30年1月15日(月) ～ 1月17日(水)

定住促進の取り組みについて調査するため石川県かほく市に、次世代交通対策事業及び防災組織・防災士の育成について調査するため石川県輪島市に行政視察を行いました。

かほく市では、定住促進プロジェクトチームを結成して、新規・拡充事業を立案、実施していました。2017年には「住みよさランキング」において全国第4位になるなど成果をあげていました。

輪島商工会議所では、自動運転の電動カートで市街地を周遊する次世代交通対策事業に取り組んでいました。生活や観光での利便性の向上を推進し地域の活性化を図っていました。

輪島市は、防災士の資格取得を推進して防災士の育成を図っております。資格取得後も地域の避難訓練に参加し、救急救護訓練や避難所運営訓練を行うなど、効率的な防災力の向上に取り組んでいます。



議会運営委員会行政視察

期日：平成30年1月25日(木) ～ 26日(金)

議会改革について調査・研究するため福岡県川崎町議会と佐賀県武雄市議会に行政視察を行いました。

川崎町議会では、平成20年に「議会改革特別委員会」を設置し、平成22年には議会基本条例を制定するなど、議会改革に取り組んでいます。主な取り組みとしては、議会報告会の開催、議会住民懇談会の実施、本会議及び委員会の開催予定表の庁舎入口への掲示などを行っていました。議会住民懇談会では、公共性のある団体を対象としており、団体の意見や抱えている問題を把握することにより、議会の政策提言につなげていました。

武雄市議会では、市議会の「見える化」に取り組んでいました。市民の議会への関心も高く、分かりやすく視聴できるよう一般質問時のモニターテレビの導入や、発言内容の同時通訳の実施により、「見える化」の一層の充実を図っていました。



委員会活動報告

よりよい議会だよりを目指して

議会広報編集委員会行政視察

期日：平成30年1月30日(火)～1月31日(水)



議会だよりをリニューアル

議会広報編集委員会では、多くの方々にとり取ってもらえるよう議会だよりをリニューアルしました。

リニューアルにあたって、埼玉県小川町議会と山梨県昭和町議会への行政視察を行いました。編集や原稿作成の方法など勉強させていただきました。



委員長 渡辺 拓哉

今回の視察で自分たちの議会だよりに足りない所がとてわかりました。

まずは、子どもからお年寄りまで誰もが手に取ってくれるような、親しみやすくわかりやすい議会だよりを目指していきます。



副委員長 小沼 勝

鉾田市民の一言が、行政、議会を大きく動かします。物事を真摯に受け止め、市民の目に留まり手に取ってもらえるような広報紙にしていきたいと思います。



石津 武吉 委員

裏表紙の編集後記でリニューアルについて触れさせていただいています。

ぜひ、お読みください。



入江 晃 委員

本物に触れ、使命感の凄さに感動。何のために頑張るのか、最後には全ての自分の成長につながると実感!!



郡司 功 委員

視察先では、文書を出来るだけ簡略化し、専門用語に解説を掲載するなど、より読みやすくする努力をしていると感じました。



井川 倫士 委員

鉾田市で実施されている政策をより理解してもらえるように紙面を工夫していきます。ご期待下さい!



委員のひょうたん



議会報告会を開催しました

平成30年2月3日(土) 午後2時から福祉事務所の2階会議室で開催しました。

参加者は46名でした。

議会報告会は、市民の皆様の意見をより多く聞くことができるよう意見交換に重点を置く方針で開催しております。

議会の審議内容などを報告した後、意見交換会を行いました。参加された多くの皆様から活発な質疑がなされました。



請願・陳情を受理しています

行政に対する市民の意見・要望等について、年齢や国籍などに関わらず、どなたでも、市議会に対し請願・陳情を行うことができます。

○提出方法

決められた様式はありません。見本を参照し、鉾田市議会議長宛てに提出してください。

A4の用紙を使用し、提出年月日、請願者の住所氏名（請願者が複数の場合は、代表者の氏名ほか○名）を記載して押印し、正本1部を提出してください。

○受付

議会事務局で随時受け付けていますが、原則として、**定例会開会予定日の8日前**までに提出されたものをその定例会で取り扱います。それ以降に提出された請願等は、次の定例会に付議されます。

○要件

「請願」は1名以上の紹介議員の署名または記名押印が必要です。

書き方の見本

(表紙)

平成 年 月 日

鉾田市議会議長 様

紹介議員 氏名 印

※陳情の場合不要

〇〇〇に関する請願（陳情）書

請願者 住所
（陳情）氏名

※請願者が複数の場合は、別紙に署名を添えて、ここには代表者氏名ほか○名とする。

(本文)

〇〇〇に関する請願（陳情）書

請願（陳情）趣旨

請願（陳情）理由



平成30年第2回(6月)定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	6/1	2
3	4	5	6	7	8 本会議 (開会)	9
10	11	12 一般質問	13 一般質問	14 一般質問	15	16
17	18 常任 委員会	19 常任 委員会	20 常任 委員会	21	22 本会議 (閉会)	23
24	25	26	27	28	29	30

※日程は変更になる場合があります。

平成30年第1回(3月)定例会の
延傍聴者数 **123名**



編集後記

銚田市の年間総合予算を審議する第1回定例会は、2月27日の市長施政方針演説から始まり、3月23日の討論、採決で終了しました。平成30年度一般会計予算の採決結果は、賛成10人反対9人と僅差でありました。基金の取り崩し、うまかつペフェスタ、ブランドアップ事業、スクールバス、白紙撤回の交流館などが議論され、5人が討論に立つという、今までにない緊張感が漂う予算議会でした。議員一人ひとりの質問力が向上していると実感しました。

当市議会だよりも今回から、大きくリニューアルすることになりました。親しまれる紙面、わかりやすい広報をめざしていきますので、ご愛読のほど宜しくお願いします。

(石津 武吉 記)



編集委員

- 委員長 渡辺 拓哉
- 副委員長 小沼 勝
- 委員 石津 武吉 郡司 功
- 入江 晃 井川 倫士



「未来のカジメン・イクメン育成セミナー」
育児や料理などを体験！
家事する男子・育児する男子をめざして



傍聴者の声

銚田市上沢
菅谷 一義

平成30年第1回定例会を傍聴いたしました。一般質問初日から市民交流館の質問が多く感じました。7年前の未曾有の東日本大震災が無かつたらと思うと残念です。

さて、私が議会傍聴を始めてから、議長は4人目となりました。新市長にチェンジして、行政と議会が大きく飛躍することを期待しています。

また、議員補選にて2名が当選し、定数20名となり、活発な議論がされています。「いのちとくらしの先進都市」をめざして、安全・安心な市の発展に活発な議論をしている議員各位の「不動心」の姿勢に感銘しております。

結びに、質問が重複している感じがしますので、調整出来ないでしょうか。さらなる向上を祈念いたします。

議会を傍聴してみませんか！

次回の定例会は
6月8日(金) ~
開会は午前10時です

議会は、どなたでも傍聴できます。
事前の予約は不要ですので、市役所3階議会事務局にお越しいただき、傍聴の受付をしてください。